

本庄市塙保己一記念館にある資料紹介

げんじ
元治元年（一八六四）領主 永島直之丞からの郷士申渡覚
なほのじょう
（ごうしもうしわたしおぼえ）

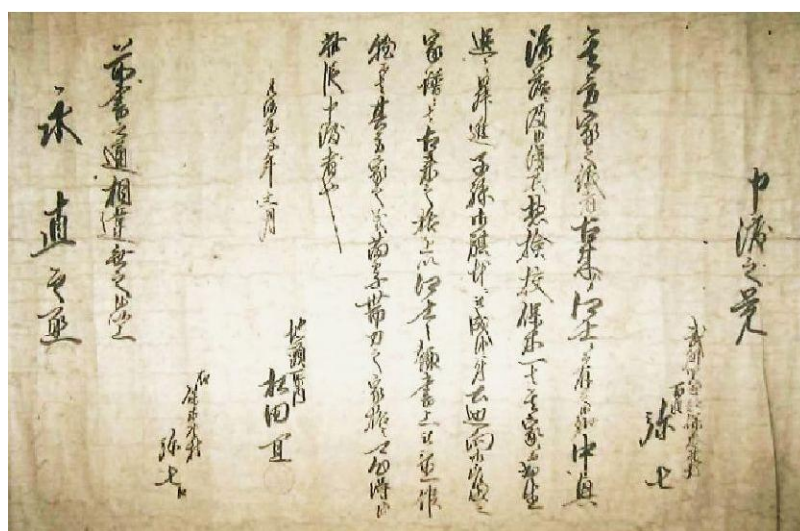
文・顕彰会事業委員 荒井一夫

郷里の父 宇兵衛は、寛政七年（一七九五）、保己一が五十歳のときに亡くなりました。

家督は保己一の弟にあたる卯右衛門が継ぎましたが、その子の娘婿である弥七のとき

（塙家では三代目、忠韶の代）に塙家と荻野家の振り合い（＝身分のつりあい）を持たせるような処遇）で、地頭から弥七宛てに届いた苗字・帯刀を許すとの申渡し状であります。

（上写真の文言）



（文言の内容）

弥七の家は古来より「郷士」（武士の待遇をうけた農民）の家でしたが、その後、家が衰微していました。しかしながら、総検校塙保己一が出た家であり、さらに保己一の子孫が昇進して旗本に成ったので、公式に提出する家譜では古来の格に従って「郷士」として書き上げるように、さらに苗字・帯刀の家格であると心得よ、としています。

前書之通相違無之候以上

永直之丞 ㊦

申渡之覚 武州児玉郡保木野村 百姓 弥七
其方家之儀者、古来（より）郷士ニ而有之候処、中興
流落二及候得共、惣検校保木一者其家ニ而出生、
追々昇進子孫御旗本ニ被成候二付公辺向御差出之
家譜二者、古来之格を以郷士之趣書上被置候、
就而者其方家之義、苗字帯刀之家格与可心得候、
此段申渡者也
元治元子年十二月 地頭所内 松田亘 ㊦
右 保木野村 弥七江

今年度も塙先生顕彰会の会員として継続してご協力くださいますようお願い申し上げます。

みなさまからの貴重な会費は、没後195周年となる来年に建立（3月予定）の塙先生の銅像の作成費用や塙先生の命日である9月12日に先生の遺影に菊の花を捧げ遺徳をしのぶ顕彰祭のため、また、その他の啓発活動に使用させていただきます。

今年度につきましても会費の納入をお願い申し上げます。
みなさまのご協力をなにとぞよろしくお願いいたします。



年会費 個人会員 一口 千円、 賛助会員（団体） 一口 一万円

入会と会費納入の受付場所 本庄市生涯学習課（5月まで中央公民館、6月から市役所4階）と本庄市児玉文化会館（セルディ）で受け付けています。5月まで市役所では4階文化財保護課でお預かりいたします。※郵便振替でも申し込みできます（ご希望の際は下記へご連絡ください）。

発行 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会

事務局 本庄市教育委員会 生涯学習課 本庄市児玉文化会館（セルディ）内

所在地 367-0216 埼玉県本庄市児玉町金屋728-2

電話 0495-72-8851 FAX 0495-72-8854

※点訳ボランティアグループ「ほきの六点会」の皆様により会報誌の点字翻訳版を作成していただきました。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 会報誌

第22号

平成27年5月発行



- ・ 5月23日開催の平成27年度総会では、いよいよ今年度に建立の予定である銅像にちなみ「保己一少年、15歳の旅立ち～温故学会の塙保己一像と新塙保己一像～」と題して公益社団法人温故学会齋藤幸一理事長にご講演いただきます。
- ・ 右上：(参考資料) 温故学会所蔵の塙保己一先生旅姿の図
- ・ 右下：(参考資料) 温故学会にある塙保己一先生の銅像(座像)

＝来年の塙先生没後195周年にむけて(塙保己一少年「旅立ちの朝」銅像建立)＝
ごあいさつ

五月の陽光うらかな日とのなか、会員のみなさまにはご健勝のこととご推察申し上げます。みなさまには日頃、総検校塙保己一先生の遺徳顕彰にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、来年の平成28年は塙先生没後195周年となります。この節目の年にむけて顕彰会では、上越新幹線本庄早稲田駅前に銅像建立を計画し、準備を行ってまいりました。そして、今年はいよいよ銅像の制作に取り掛かり、来年3月の完成を目指す予定となっております。会員のみなさま方には、ぜひご期待ください。また、このたびの銅像建立にちなみ、5月23日に開催の平成27年度総会では、「保己一少年、15歳の旅立ち～温故学会の塙保己一像と新塙保己一像～」と題して公益社団法人温故学会理事長の齋藤幸一氏にご講演いただきます。大勢のみなさまのご参加をお待ちしております。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 会長 吉田信解